

エコ・ハイブリッド外灯お目見え 愛知県



太陽光と風力を利用し点灯

太陽光と風力で発電して点灯する「エコ・ハイブリッド外灯」【写真】がこのほど、名古屋市愛知県庁西庁舎前の駐車場に2基お目見えし、県民の明るい話題となっている。

この外灯は、太陽光電池と、花のつぼみの形をした風力発電機を備え、発電した電気を電池に蓄え、日没後に自動で点灯する仕組み。商用電源を用いていないため、二酸化炭素の排出量はゼロ。災害時な

どの照明や電源としても使用できる。照明は、環境に配慮して、蛍光灯などに比べ消費電力が低い発光ダイオードが使用されている。

点灯式には、県議会地域振興環境委員長渡会克明議員(公明党)が出席。あいさつに立った同議員は「この外灯が、地球が今、温暖化で大変な思いをしていることを伝える『PR灯』になれば」と期待を寄せた。